

# Point

J R 東海 労 大 阪 修 繕 車 両 所 分 会 分 会 情 報

No. 168 2012. 11. 23.

発行責任者

乾 眞規

編集責任者

教 宣 部

## チェックシートの変更でまたも作業者の負担が増！

11月26日からチェックシート等の記入方について変更されることになりました。

新たにフサギ板チェックシートに作業者、確認者の氏名を記入する項目が追加されます。

理由は、作業者、確認者の明確化とすることです。しかし、今までのやり方で何ら問題なく作業分担表で作業者、確認者の分担も明確になっています。なぜ会社は、変更する必要があるのでしょうか？事前教育の場で、多くの社員から「作業分担表とチェックシートに同一氏名の作業者、確認者の重複する複数記入があり、作業分担表を簡略化しては」「記入方法が複雑で、ミスをする芽を増やしているだけである」など意見が出されたにもかかわらず、会社は何ら聞き入れること無く実施する強気な姿勢を示しました。

## 安全を目指すためのチェックシートというより作業者を縛る目的？！

## お互いの作業を支え合っている修繕車両所には合っていない！！

社員からは、「フサギ板チェックシートに共同で作業した場合は、共同作業者氏名を記入、作業分担表には代表者氏名を記入する。こんなやり方は複雑で間違えるもとである」「複数箇所に氏名記入することに気をとられミスにつながる」「フサギ板、アングル、ボルト一本一本の責任の明確化ということでは共同作業ができなくなる」などと声が上がっています。

今回の変更は、チェックシートの机上の体裁を整えるためのチェック項目の追加であり、作業者の作業場所をより明確にし、作業ミスが発生した場合の責任追及をやりやすくするためではないでしょうか？

新たなチェックシートをつくったとしても、中身がともわないと職場は混乱し、作業ミスやヒューマンエラーが発生します。もし、仕事でミスがあったら、今までの例を出すまでもなく、すべて私たち社員ひとり一人の責任になるのです。こんなバカにした話はありません。実際に作業をするのは現場で働く私たちです。

## 安全のために無駄のない、簡潔なチェックシートが必要！

全社員の皆さん！

新幹線電車の安全を守るために、誰が見ても記入方が理解でき、作業者の負担にならない簡潔なチェックシート、チェック体制の見直しを求めて行きましょう。